

回生 ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

92号

2017.1月発行

発行/社会医療法人 峰和会

編集/鈴鹿回生病院

所在地/鈴鹿市国府町112番地1

TEL/059-375-1212

FAX/059-375-1717

URL/http://www.kaisei.jp.com

編集協力/TCKnagaya



社会医療法人 峰和会
理事長 長谷川 静生

明けましておめでとうございます。

昨年末の米国トランプ大統領誕生は世界にとって大変衝撃的な出来事でした。これから起こるかも知れない世界の変化を暗示させる出来事なんでしょうか。今後の日本の医療界に予想される波乱含みの変化に思いを重ね合わせてしまいました。地域医療構想策定も今年度で骨子が固まり全体像が見えてくるでしょうし、平成30年度スタートの第7次医療計画、介護保険計画も今年度から詰め準備作業が始まります。カウントダウンに入った2025年問題に向けて示されたこれら数々の指針からは国の強い意志が読み取れ、変化に対

迎春

2017



応する柔軟性と機敏性が一層必要になってくると思われます。

鈴鹿回生病院では1月に病棟再編を行い、急性期病床に加え一病棟の包括ケア病床を開設稼動いたします。重症度に応じた患者対応で退院後の在宅、リハビリへの患者の流れが更にスムーズに進むものと思われます。昨年6月行なわれた亀山回生病院での介護療養病床から医療療養病床への転化も、鈴鹿回生病院を軸とした医療連携強化を念頭に置いたものがあります。今年は中期3年計画の最後の年度でもあり「地域社会との共存」が目標であると言われている地域医療構想にそって、峰和会回生病

院が今出来ることを着実に進めて参りたいと思います。

伊勢志摩サミットも成功裏に終わり、オリンピックでは日本選手の活躍が日本中を沸かしました。また最近の大隅良典先生ノーベル賞受賞の報道も、日本人として3年連続の受賞は大いに我国の存在を世界に示してくれた出来事でありました。何かと先の見通し難い時代ではありますが、今年もこの様な世界に発信する明るいニュースが飛び交う、正に「酉の年」になってくれる事を心より願うばかりです。



平成
29
年

両院長より新年のご挨拶

地域医療構想をふまえた新たな急性期病院として

新年あけましておめでとうございます。

私が院長に就任し、3回目の新年を迎えました。昨年は、7対1看護基準体制の急性期病院として地域医療に貢献できたと考えています。

しかし、4月に行われた平成28年度診療報酬改定により、7対1看護基準体制を続けて行くには看護必要度、平均在院日数など問題が出てきていることも事実です。さらに、2025年問題を見据えた地域医療構想の策定や地域包括ケアシステムの構築に向けての政策から、全国規模で進められていくと思われる病床機能や病床数の見直しへの対応も必要不可欠です。今後も国は高齢化が一段と進む2025年に向け、医療費削減を第一に考えた医療政策を推進させるべく方向性を打ち立ててくるでしょう。当院としてもこのままの体制で、7対1看護基準体制の急性期病院を続けていけるとは思えません。とくに病床機能については、高度急性期・急性期のみでの運営を見直す必要が生じてきました。具体的には、本年から一部の病棟を急性期病棟から地域包括ケア病棟に変更して運営していこうと考えております。しかし、一部病床機能がかわっても、当院は基本的に急性期病院として地域の皆様に貢献していくという姿勢は変わりませんし、地域包括ケア病棟を始めることで、よりいっそう地域に密着した医療が行える可能性が広がるものと思っています。

「病で死ぬな、枯れて死ぬ」

昨年、元慈恵医大教授で101歳の整形外科医師 伊丹康人先生が出版されたエッセイ集のタイトルです。大先輩のこの言葉は、高齢化社会を肯定する素晴らしい言葉としてもとらえられます。高齢の患者さんへの医療、あるいは今は若い患者さんが高齢になるまで元気で生きてもらうための医療を行うことは、決して間違いではないと励ましていただいているようです。医療費削減という厳しい情勢の中でも、当院は患者さんにこういう適正な医療を提供できるような正攻法を模索し続けなければならないと思っております。これまで以上に救急医療から専門的医療まで安全で良質な医療を提供させて頂けるよう職員全員一丸となって勤める所存でございます。ご指導ご支援よろしくお願い致します。

「患者さんファースト」の診療

新年あけましておめでとうございます。

本格的な少子高齢化がいよいよ始まります。三重県も出生率の低下により人口はすでに減少傾向となっていますが、団塊の世代の高齢化が進んできています。これを乗り切るには、医療や介護の仕組みを大きく変えて行かなければなりません。鈴鹿・亀山地域においても今後の医療を見越して、地域医療構想の策定作業が行われています。その中で、鈴鹿回生病院附属クリニックは、地域に根ざした医療を押し進め、「患者さんファースト」の診療を行っていきたいと思います。また、専門的外来を充実させることも私達の役割であると思っています。

毎年、患者さん満足度調査をさせていただいておりますが、懸案の待ち時間においては、残念ながら満足な評価をいただいております。例えば、月曜日や祝日の翌日などは、受診される方が多くなる場合があり、そのような時には待ち時間が長くなってしまいます。ひとつひとつ課題を解決していきたいと思っております。接遇面ではありがたいことに良い評価をしていただいております。接遇委員会が中心となり、回生病院の良い文化を創ってくれました。日々の努力、積み重ねの成果であると自負しております。今年も、病院と共々、地域医療に貢献すべく邁進してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



鈴鹿回生病院
院長
加藤 公



鈴鹿回生病院附属クリニック
院長
田中 公

連携医療機関紹介

おおすみ整形外科



▲ 院長の大角秀彦先生

タヌキのロゴマークが目印です

おおすみ整形外科は、名阪壬生野インターを降り北へ800mほどの西之沢交差点を右折し約500m程のところにあります。院内は、お年寄りやお子さん連れに優しい全面バリアフリー。待合奥には、壁一面の本棚があり、漫画喫茶さながらです。「これ貸してな」と借りて行かれる患者さんや、寄付してくださる患者さんもおられるそうです。

また、子どもの頃から釣りのスパルタ教育を受けていたという先生は、今でも釣りが趣味。回生病院の森田副院長とも釣り仲間だそうです。院内には、カジキマグロの魚拓が飾られています。



院長の大角秀彦先生は、平成4年(1992年)三重大学医学部をご卒業後、整形外科学に入局されました。その後、三重大学附属病院、市立伊勢総合病院、尾鷲総合

病院、鈴鹿回生病院、名張市立病院などの医療機関で整形外科医として研鑽を積み、平成18年、この地に開業されました。整形外科の看護師として働くお母様が『治療後に患者さんの喜ぶ顔をたくさん見ることができる整形外科の分野はやり甲斐がある』と、楽しそうに働く姿をみて育ち、自ずと整形外科医を目指したという先生、勤務医時代はここ、鈴鹿回生病院でも過ごされました。「回生病院では、手の外科のスペシャリストである藤澤名誉院長、膝の名医である加藤院長のご教示を受け、さまざまな知識や経験を身につけさせていただきました」と当時の思い出話をしてくださいました。現在、先生を筆頭に、看護師6人、放射線技師2人、理学療法士2人、受付5人、総勢17名体制で診療しています。

関節リウマチ治療

この地域では、リウマチをみる医師が少ないこともあり、リウマチの患者さんが多く来られるそうです。

「リウマチの治療は10年～20年前に比べ格段に進化しました。2ヶ月に1回レミケードという点滴を行う事で、車いすで来られた方が治療後は歩いて帰ることができるほどの効果が得られます。最新のリウマチ治療により病気の進行が停滞し、中には治ってしまう方もおられます。また早期発見の手段も増えてきました。二箇所以上の関節が同時に痛くなったり腫れてくるような事があったら、一度検査をおすすめします。血液検査やエコー検査で羅患がわかります。どこの関節でも起こるのですが、一般的には手、足、が多いと言われています」。

患者さんへのメッセージ

～この地域は、バス停に歩いて行くのも大変だからと、ご自身で軽トラを運転して通院され

DATA

TEL 0595-45-1200

住所

伊賀市柏野字西沖600番地の1

診療科目

●整形外科 ●リハビリテーション科
●リウマチ科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時30分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



ているような高齢な患者さんが非常に多いのが現状です。健康に過ごすためには、前述したリウマチもしっかりですが、早期発見早期治療が有用です。おかしいな?と思ったらまず、かかりつけ医にご相談ください。精密検査など必要に応じて回生病院さんなどの基幹病院と連携し、対応させていただきます。平成18年に開院し昨年の4月で10年が経過いたしました。今後も地域の皆様が安心して治療が受けられる医院をめざして、日々つとめてまいります～

今後もこの地域のかかりつけ医としてご活躍されることでしょうか。



転倒予防に効果のある体操と、日常生活のポイントをご紹介します。



理学療法士
前田幸子

「体操編」踏み台昇降

下肢の多くの筋肉を使用し、
バランストレーニングにもなる全身運動です



10~20cm程度の
安定した台を
使用してください

軽く息が弾む程度
に続けましょう



注意

転倒に気をつけて行ってください。

「ポイント編」

玄関など段差の大きい場所は、
状況に応じて手すりや段差解消の為に
踏み台設置をご検討ください



踏み台を設置することで
段差を約半分に解消

発信@
栄養管理室

管理栄養士
村上 清香



さば

賞味期限が近づいた非常食を利用して

簡単なのに
豪華に見える!!

ホットプレート
サバ缶パエリア



●サバ

サバなどの青魚に含まれる脂は、善玉コレステロールを下げずに悪玉コレステロールを下げてくれる働きや、血液が通りやすくなると言われています。「脂」といわれると避けたいかもしれませんが、青魚の脂はしっかりと摂りましょう。缶詰の場合は汁ごと使用することをおすすめします。ただし、塩分も含まれているので注意が必要です。今回はサバ缶汁の塩味を利用し、塩を入れずに少量のコンソメとカレー粉を使用し味をつけているので、減塩メニューとなっています。

●ひとこと

サバ缶を災害時の非常食としている方も多いと思いますが、賞味期限が一度にきてしまいます。そのまま食べるのも美味しいですが、今回はアレンジメニューを提案させていただきました。

【材料】(4人前)

サバの水煮缶	1缶(内容量190g)
米	2合
玉ねぎ	1個
赤パプリカ	1個
黄パプリカ	1個
ピーマン	2個
パセリ	1束
シーフードミックス(冷凍)	180g
トマト缶	半缶(200g)
レモン	1個
オリーブオイル	大さじ3
コンソメ	小さじ1
カレー粉	大さじ1
白ワイン	100cc
水	400cc

【作り方】

- ①玉ねぎ、にんにく、パセリはみじん切り、パプリカ、ピーマンはスライスにカットしておく
- ②ホットプレートを250℃に熱し、オリーブオイル、パプリカ、ピーマンを入れてふたをし蒸し焼きにする
- ③火が通ったら取り出し、にんにくを炒め香りが出てきたらシーフードミックスとワインを入れてふたをして3分蒸し焼きにする
- ④③に米、玉ねぎ、カレー粉、トマト缶、コンソメ、サバ缶の汁、水を入れてふたをして10分火を入れる
- ⑤サバ缶の身、取り出しておいたパプリカ、ピーマンを入れてホットプレートの温度を180℃に下げふたをして10分蒸し焼きにする
- ⑥パセリとレモンを盛り付けて出来上がり

【栄養成分】 1人分

エネルギー	520kcal	タンパク質	18.9g	脂質	15.1g	食物繊維	4.1g	塩分	1.7g
-------	---------	-------	-------	----	-------	------	------	----	------

(サバの水煮缶の塩分含む)

このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

梶川 博之 かじかわ ひろゆき 神経内科 副部長

専門領域:神経内科一般

資格:内科学会認定医、日本神経学会専門医・指導医、総合内科専門医



Q1. 出身地はどちらですか？ 幼少時の思い出を聞かせてください

生まれは愛知県です。父の仕事で転居が多く、保育園は2ヶ所、小学校は3ヶ所に通いました。その名残か、今でも引越し、転勤は苦手です。岡崎市、浜松市など「徳川家康さんはとても偉いんだよ」という土地で育ちましたので、いろいろな本を読んで尊敬していましたが、真面目で我慢強いという性格が育まれたかといえればかなり微妙です。



幼少時の先生

Q4. 趣味や好きな事 (ストレス発散方法など)は何ですか？

元々あまり趣味らしいことがなくて困っていたのですが、子供が将棋を指すようになったので将棋を見るのが好きになりました。ただ子供たちが指しているところを見ていたり、プロの対局を一緒にテレビで見たりもするのですが、自分は全く指せるようになりません。それはそれでちょっと感心します。



将棋を指す息子さん

Q2. なぜ医師をめざしたのですか？

いろいろあったのかもしれませんが、他の先生方のような明確な理由はなかったように思います。実際はどの職業であっても同じなのですが、その時は「診察や手術など、医師にならなければできないことが多い」と思っていて、一度きりの人生であればその道に進んでみようかなと考えた、といったところだと思います。結局、内科医ですので手術をすることはありませんが。

Q5. 今後力を入れて行きたいことは何ですか？

神経領域はパーキンソン病などの変性疾患、脳血管障害、認知症などの疾患が主になりますが、膠原病などに伴う神経免疫疾患や、髄膜炎、脳炎などの神経感染症疾患なども積極的に診療していきたいと当科の中村先生といつも相談しています。

Q3. 神経内科を 専門にしたのはなぜですか？

正直なところ、最初は名前が格好いいかなと思っていただけです。しかし不思議なもので、そう思っていたら興味がわいてきました。神経領域は実際に見たり、直接触れたりということができません。問診や診察がとても大切になってくるのですが、学生実習のときに当時の教授の神経診察を見学して、その下で勉強・仕事をしていきたいと感じて選択しました。

Q6. 紹介を希望する疾患を教えてください

他疾患の治療中に頭痛やしびれ、運動障害などの神経症状が生じてきた方や、予想よりも早く進行する認知症など、気にかかる変化がみられる方も是非ご紹介ください。

Q7. 学生時代の思い出をお聞かせください

音楽は基本苦手ですが、高校生の頃は吹奏楽部でした。引退後に名古屋市内の他の高校のメンバーと吹奏楽団を作って演奏会を開いたりしました。その流れで大学時代は軽音楽部でしたが、今も楽譜はちゃんと読めません。

Message

患者さんへのメッセージ

皆さん、脳のことをとても大切に考えていただいております。きっと脳も喜んでいきます。悪くならないように維持していきたいですね。

第8回 亀山市脳卒中市民講座開催

～亀山市文化会館にて～

11月23日(水) 亀山市文化会館にて第8回亀山市脳卒中市民講座を開催致しました。当日は大勢の市民の皆様にご参加頂き、4名の医師により脳卒中に関する講演を行いました。講演終了後は市民の皆様からのご質問にお答えするコーナーを設けて、皆様の脳卒中への関心の高さが伺える有意義なディスカッションが行われました。



健康セミナー開催

11月26日(土)開催の健康セミナーでは、「生活習慣病の予防」と「膝の痛みの和らげ方」の講話・バランス体操・測定コーナーを行い、多くの方にご参加いただき大盛況でした。またのご参加をお待ちしております!



鈴鹿シティマラソン

12月18日(日)第19回鈴鹿シティマラソンが鈴鹿サーキットにて行われました。当日は医科学相談コーナーを設置、救護班に救急車を配置して、当院から専門医師をはじめ多くのスタッフを派遣し走者のサポートを行いました。



ほっと smile

マンモグラフィ装置が新しくなりました



2016年9月より診療用マンモグラフィ装置「AMULET Innovality」(富士フィルムメディカル社製)を導入しました。

従来の装置より「高精度」な画像を「低被曝」で提供できます。撮影はマンモグラフィ撮影認定資格を取得した女性技師が行ない、良質な画像を提供できるよう、日々研鑽しています。



看護師職員を募集しています

夜勤可能な方、手術室経験のある方、男性看護師、パート希望の方を募集しています。私達と一緒に働きませんか? 病院見学も随時しております。お気軽にお問い合わせください。

担当: 看護部 横田
TEL 059-375-1332(看護部直通)

編集後記

今回は「新年のご挨拶」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等ございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院長 関)

クリスマスコンサート'2016

12月17日(土)恒例のクリスマスコンサートを開催しました。職員によるハンドベル演奏、院内サークル「響」による三味線演奏や院内保育所「回生キッズ」の児童によるダンスの披露が行われました。今回はゲストコンサートとして、伊賀市を中心に活躍されているマンドリンアンサンブル「セシリア」の皆様にご参加いただき、美しい音色が会場に響き渡りました。



病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL 059-375-1212 mail: info@kaiseihp.com